

株式会社 小太刀重機 勤務

柴田 将人さん (25歳・日光市)

プロフィール
身長…181cm 血液型…B型
趣味…ドラム演奏
好きな食べ物…からあげ

「クレーンを巧みに操作する先輩の姿に
あこがれ、この仕事に就きました」といき
いきと話す柴田将人さんを紹介します。
移動式クレーン運転士や大型特殊の免
許を取得し、日々クレーン操作の技術を高
めようと奮闘しています。しかし、先輩の
正確な操作にはまだまだ追いつくことが
できません。
現場ではできる限り、先輩のテクニク
を覚えようと努力しています。「30歳にな
るまでには、50トンのクレーン車を乗りこ
なせるようになりたい」と目を輝かせま
す。
休日は、バッティングセンターへ行つた
り、中学時代の友人とバンド演奏をしてい
ます。今は仕事が一番だという柴田さん、
目標に向かってがんばってくださいね。



松原4丁目
津原 杏ちゃん
(H21.3.10生)



千度
鈴木 淳斗くん
(H21.3.12生)



坂田山4丁目
中山 莉緒ちゃん
(H21.3.12生)



西茂呂4丁目
山下 愛結ちゃん
(H21.3.13生)



西茂呂4丁目
蓬田 恭士くん
(H21.3.13生)



幸町2丁目
矢口 永愛ちゃん
(H21.3.19生)



上殿町
渡邊 沙恵ちゃん
(H21.3.21生)



幸町2丁目
寺内 春葵くん
(H21.3.24生)



日吉町
吉川 愛侑ちゃん
(H21.3.26生)



上石川
黒川 彩羽ちゃん
(H21.3.27生)



みなみ町
千木良 葵音ちゃん
(H21.3.31生)



西茂呂4丁目
小泉 絢菜ちゃん
(H21.4.3生)



西茂呂4丁目
小泉 結菜ちゃん
(H21.4.3生)



栄町1丁目
大貫 春周くん
(H21.4.4生)

双子

人生2人3脚



石川 正男さん(89歳) / 上殿町
千代さん(84歳)

結婚記念日：昭和26年1月5日



▲金沢兼六園(昭和61年)

来年はダイヤモンド婚を迎える石川さんご夫婦を紹介します。お二人は、仲人さんの紹介により結ばれました。

正男さんは、20歳で陸軍に入隊し、昭和17年に中国で左腕を負傷し帰国、終戦を迎えました。その後、市内の工場で働き、お見合いの日は、新車の自転車ですつそうと千代さん宅を訪問したそうです。

新婚当時は終戦直後の物のない時代、とても苦労をしたと千代さんは話します。現在は、小学生になるひ孫さん2人を含めた8人世帯、家庭菜園で野菜を育てることが楽しみです。

長生きの秘訣は、質素な生活を心がけ、一生懸命働き体を動かすこと。はにかんで言葉には出さないけれど、お互いに感謝し合っていることが十分伝わってくるお二人、これからも元気で幸せに！



我が家のアイドル

このコーナーは1歳を迎えたお子さんが登場します。
※3月9日生～4月4日生掲載



茂呂 隼人くん
青柳 (H21.3.9生)



貝島町 加藤 凰雅くん
おうが (H21.3.9生)



栄町1丁目 竹澤 琉花ちゃん
るうか (H21.3.10生)



栄町3丁目 猪野 真花ちゃん
まなか (H21.3.15生)



樫山町 斎藤 由奈ちゃん
ゆな (H21.3.15生)



貝島町 深澤 来麗羽ちゃん
くれは (H21.3.16生)



緑町2丁目 渡邊 衣咲ちゃん
いさき (H21.3.16生)



西茂呂3丁目 小暮 竜生くん
りゅうせい (H21.3.18生)



上殿町 川田 ひよりちゃん
ひより (H21.3.28生)



東町2丁目 桑谷 怜那ちゃん
れいな (H21.3.30生)



千渡 五月女 舜羽くん
しゅんと (H21.3.30生)



上殿町 早乙女 千晴ちゃん
ちはる (H21.3.30生)



東町2丁目 高木 羽喜ちゃん
うき (H21.3.30生)

締切は1歳の誕生日。右記のものを郵送または持参してください。 ○赤ちゃんの写真(裏面に名前) ○お子さんの名前(ふりがな)、



食生活改善推進員とは、
「私たちの健康は私たちの
手で！」を合言葉に健康づ
くりを推進するボランティア
アさんです。

Go! Go! 健康レシピ

各地区の食生活改善推進員さんが、
おいしい健康レシピを紹介します。

Vol.1 菜の花と豚バラの
ヘルシーいため

◆材料(4人分)

菜の花	150g
豚バラ	200g
ニンニク	1片
シヨウガ	20g
玉ネギ	1/2個
モヤシ	1袋
シイタケ	3枚
ニンジン	20g
ニラ	1/2束
こんぶ茶	大さじ1杯
ぽん酢	3杯
酒	2杯
水	3杯

油を使わず、旬の春野菜を
使った料理は、「さっぱりし
ていておいしい!」と大好評
です。

作り方

- ①菜の花をゆでる。
 - ②鍋に塩を少々入れ湯を沸かし、菜の花を硬めに1分程度ゆでる。
 - ③水にさらし軽くしぼる。
 - ④フライパンに水と酒を入れ沸騰した後、ニンニクを弱火でいためる。
 - ⑤豚バラ、シヨウガに火をとおす。
 - ⑥玉ネギ、モヤシ、シイタケ、ニンジン、ニラをいためる。
 - ⑦味付けにこんぶ茶をからめ、最後に菜の花を入れる。
 - ⑧火を止めてからぽん酢をからませ完成。
- ここが決め手**
シャキツとした歯ごたえにするため、菜の花はゆですぎない方が良いでしょう。



口栗野 福田八重子さん

ぶんげい

俳壇・歌壇・川柳をはがきで応募ください。
締切は毎月5日(到着分)です。
〒322-8601 今宮町1-688-1
広報広聴係(応募部門を明記)

市民俳壇

布川 武男選

芽吹き山ざわめきあひつけぶりつつ

北半田 大木しげ子

種子播きの背にうつすらと遠筑波

高谷 大貫 トミ

土起こし汗の分だけ広がりし

上日向 畠山 茂

鶯をまねる口笛美少年

板荷 小林 清志

満天星の新芽に鋭き光あり

みなみ町 田村 フサ

若草の光の中に犬放つ

北半田 大木 義秋

在りし日の母の味恋うよもぎ餅

旭が丘 山岸 カヅ

老いた木によりそうように咲く梅よ

花岡町 太田 聡

市民歌壇

森田 春雄選

病院へ続く小径を歩みゆけば五階の窓より夫は手を振る

西沢町 竹沢 敏子

検温にやさしさ漂う看護師は淡きピンクのカーディガン着て

貝島町 高橋 ヨシ

つるし雛木目込み雛に手作りの雛を飾りて吾娘らは集う

深津 瓦井 朝子

作り手の誇り



麻生産農家 小太刀 清さん・ミヨ子さん
(下永野)

麻作りを始めて50年です。

春に種をまいて、夏の一番暑い時期に収穫をします。収穫後も、精麻にするまで湯かけ、麻干し、床まわし、麻はぎ、麻ひきなど大変な作業が続きます。

苦労して作った麻が、「横綱」という神聖なものになることは誇りです。今年もがんばって品質の良い麻を作りたいです。

麻の栽培面積日本一を誇る鹿沼市。麻は、古くから衣類、紐、下駄の鼻緒、魚網、風呂糸など身近なものに使われてきました。しかし昭和30年代以降、化学繊維の普及により産業用の需要は減りました。現在では、しめ縄や幣束などの神具、伝統工芸品などに用いられています。

※栃木県内では、昭和57年から毒性のない品種「とちぎしろ」以外の品種は生産されていません。

ものづくり名鑑

鹿沼のチカラ

鹿沼が誇る逸品を紹介します。

POWER.1 大相撲の横綱



横綱白鵬の土俵入り

写真提供 日本相撲協会

国技である大相撲。その頂点に立つ横綱は、いつの時代も国民から愛される存在です。そして、その横綱だけが締めることを許されている「横綱」は、鹿沼で生産された麻で作られています。

市民川柳

断酒して三日坊主の花見酒

ああいえばこういう人で煙たがれ

国産の横綱の出を待つ土俵

あっそうか、騙し騙され四月馬鹿

へそくりが日の目見る日のマイホーム

連立を組んだ妻子のストライキ

春の日に不景気は似合わない

とちおとめ絵手紙だけの贈り物

如月の凍てつく庭に福寿草寄り添うごとく可憐に

咲きぬ 下日向 市田 マキ

定まらぬ春の気温の昨日より今日寒くして空夕や
けす 深津 田崎 テル

歳古りてわが越し方を振り返る子に孫ひ孫さずか
りし今 茂 呂 安良岡レン

留守居せる昼の厨に卵割れば満月のやうな黄身す
べり落つ 上石川 柴原 愛子

庭の辺に一本たてる紅梅の香りゆたかに春を告げ
おり 白桑田 中里 澄美

白石 洋選

上日向 滝野 里花

上殿町 小林 義雄

西沢町 高久 幸子

東町一丁目 松本 亮二

上野町 中本 十字郎

幸町一丁目 大島 溪流

玉田町 松本とまと

坂田山三丁目 大門 六郎